

平成12年 6月27日

気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島の地震活動は15時11分にM4.7（暫定）の地震が発生するなど引き続き活発である。震源は午前比に比べ一層西方に移動し、島から離れた海域に集中している。傾斜計の変化は鈍化しつつある。GPS観測では引き続き島の西側での南北の伸び、東側での収縮が続いている。震源分布及びこれら地殻変動データから見ると、マグマは西方に移動しているが、海岸付近では岩脈の拡大を続けていると考えられる。

今朝認められた西方沖の変色水は移動中のマグマから小規模な海底噴火があったことを示唆する。航空観測によれば変色水は14時頃を最後に認められなくなった。

以上のように、マグマの活動域は西方海域に中心を移しつつあるが、海岸付近での噴火の可能性は依然として残されている。島の東部での噴火の可能性は極めて低い。従って、西海岸付近から海域での噴火にしばらくは警戒が必要である。

平成12年 6月28日

気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島の火山活動にともなう、地震の震源は、西方海域に集中しており、島内での地震は発生していない。

傾斜計及びGPS観測による地殻変動の変化は、基本的には昨日同様、西側での南北の伸び、東側での収縮を示しているが、その変化は鈍化している。

震源分布及びこれら地殻変動データから見ると、マグマ活動の中心は西方海域に移っており、マグマの供給と岩脈の拡大は、鈍化している。

地震活動は、西方海域で消長を繰り返しつつ活発な活動が続いている。

以上のことから、西方海域での火山活動に対しては今しばらく警戒が必要である。また、沿岸西海岸付近では、噴火の可能性は、現時点では完全には否定できない。なお、島の東部及び山頂付近での噴火の可能性はないと考えている。

今後、海域での地震活動はしばらく継続することから、地震活動に対する注意が必要である。